

<モトクロス世界選手権 MXGP クラス>

HRC とティム・ガイザー選手、ルーベン・フェルナンデス選手が契約

株式会社ホンダ・レーシング（HRC）は、FIM^{※1}モトクロス世界選手権の最高峰クラスであるMXGP（450ccクラス）にワークスチーム^{※2}「Team HRC」より参戦している、ティム・ガイザー（Tim Gajser）選手（スロベニア 25歳）との契約を更新するとともに、新たにルーベン・フェルナンデス（Rubén Fernández）選手（スペイン 23歳）とも契約したことを発表しました。それぞれ2023年以降の複数年契約になります。

※1 FIMとは、Fédération Internationale de Motocyclisme（国際モーターサイクリズム連盟）の略称

※2 ワークスチームとは、マシンを製造しているメーカーが運営しているチーム。HondaではHRCが運営するチーム



ティム・ガイザー選手（左）、ルーベン・フェルナンデス選手（右）

ティム・ガイザー選手は、2015年にモトクロス世界選手権MX2（250ccクラス/以下、MX2）クラスで世界チャンピオンを獲得し、翌2016年には、最高峰のMXGPにステップアップして、ルーキーイヤーでチャンピオンを獲得しました。その後2年間は惜しくもタイトルを逃したものの、2019年と2020年は2連覇を達成し、今年2022年も4回目の戴冠を果たしたことで、モトクロス世界選手権で通算5度のチャンピオンに輝いています。

ルーベン・フェルナンデス選手は、2017年モトクロス欧州選手権EMX250（以下、EMX250）で3位を獲得。2018年にはMX2にステップアップしましたが、翌年はEMX250に再び参戦。2020年からMX2に本格参戦すると、2020年はランキング9位。2021年は「Honda 114 Motorsports」に移籍しMX2に参戦していましたが、第17戦からはMXGPに昇格しています。今年はMXGPクラスにフル参戦し、2度の総合3位の表彰台を含むランキング8位となりました。

■ティム・ガイザー

「Team HRC とのこの素晴らしい関係を続けることは、当然の判断でした。自分にとっては第2の家族のようなもので、これほど心地のいい場所は他にはありません。“ハッピーなライダーは速いライダー”と自分では信じていますが、Team HRC のみんなと時間を共にし、日本のエンジニアと意見を交わし、メカニックや物理療法士とやりとりすることも全て自分にとっては楽しいことで、常に次のレースが待ちきれないほどです。Honda と共にチャンピオンシップを何度も獲得しているので、CRF450R に馴染んでいます。そして Honda が開発を続けマシンをパワーアップしてくれるので、来年、6 回目のタイトルを狙える自信があります。世界中のファン皆さんにありがとう。来年 Team HRC と共にまた会いましょう」

■ルーベン・フェルナンデス

「MXGP クラスで Team HRC のライダーとして戦えるなんて夢のようです。Team HRC はトップチームですし、ここ数年は Honda マシンに乗っているため馴染みもあるので、来年ワークスマシンに乗れることに興奮しています。また、ティム・ガイザーと共に戦えることを楽しみにしています。5 回タイトルを獲得したガイザーから学べることはたくさんあります。ここまで自分をサポートしてくれたみんなにお礼が言いたいと思いますし、ここからは自分のパフォーマンスでお返しがしたくて、待ちきれません。冬の間準備を重ねて、来年シーズン幕開けまでにはトップコンディションを実現します」

■本田技研工業株式会社 執行職 コーポレートコミュニケーション統括部長

兼 株式会社ホンダ・レーシング (HRC) 代表取締役社長 渡辺康治

「ティム・ガイザー選手が引き続き Honda のライダーとして契約してくれたことをうれしく思います。我々にとって重要な存在であり、レースでも、レース外でもアンバサダーとして貴重な存在です。5 回のタイトル獲得は素晴らしいことであり、ここから先もさらに Honda と共に記録を伸ばせたらと思います。また、ルーベン・フェルナンデスという、若いライダーがチームに来ることは素晴らしいと思います。ここ数年はいいパフォーマンスを見せ、Team HRC に移るベストタイミングだと思います。既に Honda に乗り込んで、結果を出していますので、これから数年はさらに伸びると思います。チームライダー二人とも、期待をしています」